

大洗海岸 海岸侵食対策事業の効果について

自然共生に資する事業の推進(白砂青松の創出)

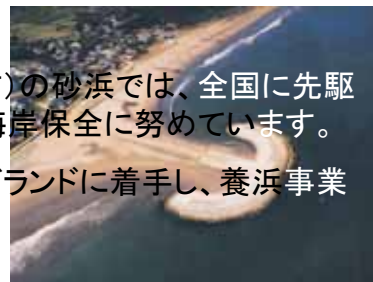
〈茨城県大洗町〉



事業概要

約97kmにおよぶ鹿島灘(大洗町～波崎町)の砂浜では、全国に先駆けてヘッドランド工法(全40基)を採用し、海岸保全に努めています。

大洗海岸では平成13年度から4基のヘッドランドに着手し、養浜事業と併せて海岸の侵食を防止しています。



▼侵食前の砂浜



「日本の白砂青松100選」に選ばれている大洗海岸は、昭和50年代後半から、土砂供給の減少や大規模構造物の影響等により、徐々に砂浜が侵食されました。また、保安林の消失も危ぶまれ整備した護岸が倒壊するなど度重なる被害を受けました。



保安林
(林野庁所管)

他事業との連携

事業名	所管	内容
海岸事業	河川局	ヘッドランド・養浜



治山事業で以前に使用した消波ブロックを、ヘッドランドに転用します。

治山事業	林野庁	砂丘造成工・防風工
------	-----	-----------

かつての“白砂青松”の創出を目指し、海岸事業(河川局所管)と治山事業(林野庁所管)が連携し、事業を進めています。